

アジサイの剪定

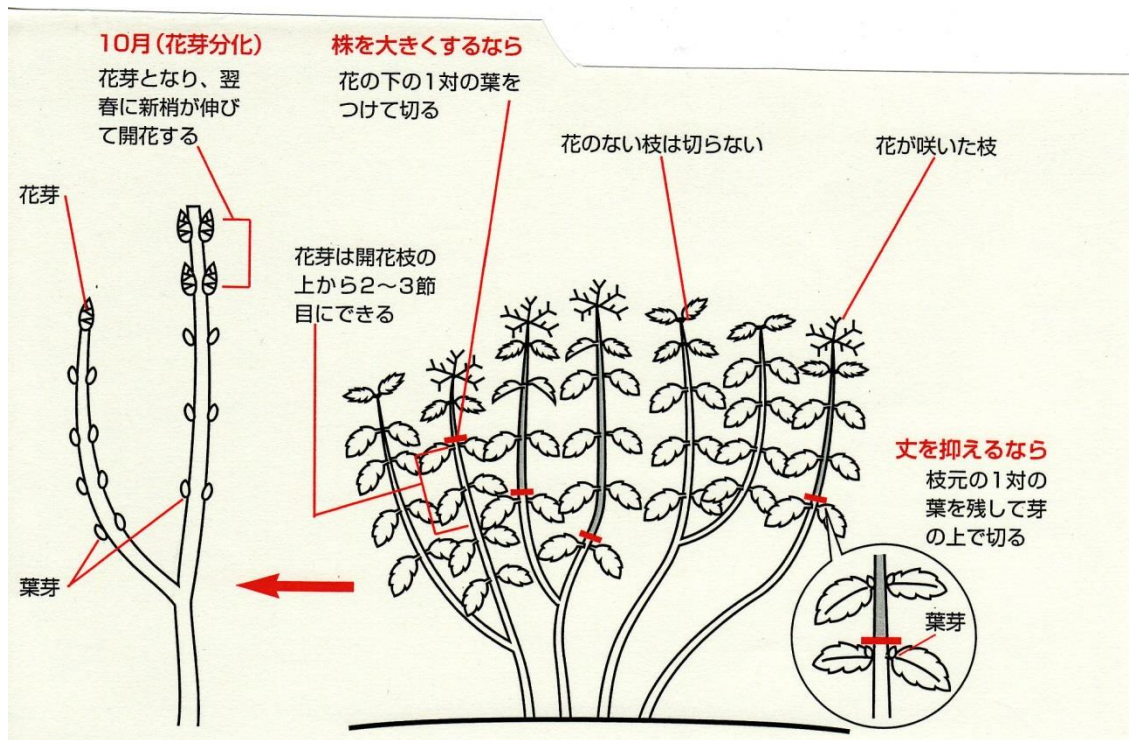
Q. アジサイは花がらがずっと付いていますが、いつ剪定すればよいのでしょうか？

A. 7月上旬までに剪定します。

＜ポイント＞

花が咲いた枝だけを剪定します。葉が付いている芽の上ならどこで切ってもよろしい。丈を高くしたくない場合は枝もとに近い芽の上で切ります。

1. 花芽は10月上旬に開花枝の上から2～3節目、不開花枝の頂端にできます。
2. 花がらを付けておくと樹勢が弱るため、花が終わったら早めに剪定します。花が咲かなかった枝には、花芽ができやすいので切らずにおきます。
3. カシワバアジサイも7月上旬までに剪定します。
4. 株が古くなると花付きが悪くなるので、3～4年に1度、根もと近くまで切り戻します。その場合、翌年の花は見られません。



夏の水やり

Q. 夏の間は水やりがたいへんです。鉢植え植物に適した方法を教えてください。

A. 種類によって水の与え方を変えます。

＜ポイント＞

熱帯植物のアサガオ、葉が多いキク、培地の水はけがよい山野草というように、それぞれの植物の特徴をとらえて、それに合った水やりをします。

1. アサガオ

ほかの植物と違い、日中に水をやります。熱帯の原産ですから暑さに強いことと、夜間に水分が残っているとつるが伸びたり、根を冷やすため、大輪花が咲かなくなるからです。日中に水を与える場合は、汲み置きの暖まったものを根もとに与え、冷たいものをやるとはいけません。根を冷やして根の働きを妨げるからです。

2. キク

葉が多いので日中は葉からの蒸散で葉はしおれますが、夕方になれば蒸散が減るので、葉は正常に戻ります。したがって、朝夕にしっかり水をやっておけば、日中に葉がしおれても心配ありません。

3. 山野草

水はけのよい培地に植えてありますから、夕方、冷たい水を頭からかけて、昼間の暑さで暖まった熱を流します。

